

大学スポーツ
365日

「5年生」エース箱根雪辱へ 創価大学陸上競技部駅伝部



今年正月の箱根駅伝、平塚中継所でたすきをつなぐ創価大
学3区の桑田大輔(右)と4区の嶋津雄大。嶋津は種別の
な走りで自身2年ぶりの区間賞を獲得した二代代表撮影

「妖精」後輩をそとと支え

想像もしていなかった、大
学に入って5回目の春、創価
大学の嶋津雄大(28)は東京都
八王子市内の大学のグラウン
ドを淡々と走の続けていた。
本人は「長きや妖精のような
感じ、ひっそりしている」と
話す。周囲の後輩たちは入
学1年を刻んで走る「5年
生」を尊敬のまなざしで見つ
める。2021年の箱根駅伝、
あと一歩で逃した総合優勝を
手にするため、独自の立ち位
置でチームを支える。

しかし突然訪れたスボッ
ク大会で、嶋津は1年生の
選手と競い合っていた。2021
年の箱根駅伝、約70分の
下を何十往復もして鍛えた
エリート選手を多く見て、
スニアに紹介された。

「みんなが嶋津の復帰を望
んでいるぞ」。復帰を決めた
のは、自主を訪れた榎木和貴
監督(竹)から背中を押しても
らったことかきっかけてっ
た。半年間の休学を経て、9
月、嶋津は再び箱根駅伝に
参加した。2021年の箱根駅
伝、約70分の下を何十往復
もして鍛えたエリート選手を
多く見て、スニアに紹介され
た。

「みんなが嶋津の復帰を望
んでいるぞ」。復帰を決めた
のは、自主を訪れた榎木和貴
監督(竹)から背中を押しても
らったことかきっかけてっ
た。半年間の休学を経て、9
月、嶋津は再び箱根駅伝に
参加した。2021年の箱根駅
伝、約70分の下を何十往復
もして鍛えたエリート選手を
多く見て、スニアに紹介され
た。

「みんなが嶋津の復帰を望
んでいるぞ」。復帰を決めた
のは、自主を訪れた榎木和貴
監督(竹)から背中を押しても
らったことかきっかけてっ
た。半年間の休学を経て、9
月、嶋津は再び箱根駅伝に
参加した。2021年の箱根駅
伝、約70分の下を何十往復
もして鍛えたエリート選手を
多く見て、スニアに紹介され
た。



今年正月の箱根駅伝、平塚中継所
でたすきをつなぐ創価大
学3区の桑田大輔(右)と4区
の嶋津雄大。嶋津は種別の
な走りで自身2年ぶりの区
間賞を獲得した二代代表
撮影

残りの約2キロで同期の小野寺勇
樹(28)が駒沢大に逆転されて
総合2位。前年の9位が最
高成績のチームにとって望外
箱根挑戦を決めた。

「最後の箱根」と思っただけに、
手は4年生だっただけに、
った。終盤に並走した相手選
位の帝京大には2秒及ばな
たすきをつないだ。ただ、4
得。6つ順位を上げ、5位で
たせて抜き去る区間賞を獲
中、繰り返して自らを奮い立
小野寺、小野寺……」と心の
回、小野寺のかたきを取る。

「最後の箱根」と思っただけに、
手は4年生だっただけに、
った。終盤に並走した相手選
位の帝京大には2秒及ばな
たすきをつないだ。ただ、4
得。6つ順位を上げ、5位で
たせて抜き去る区間賞を獲
中、繰り返して自らを奮い立
小野寺、小野寺……」と心の
回、小野寺のかたきを取る。